

## アジア編:

### 人気製品で波に乗る台湾電子機器受託製造業者

PC、携帯電話などの人気により、世界の有名電子機器メーカーからの受託製造が増加し、台湾の電子機器受託製造サービス(EMS)業者、相手先ブランド設計製造業者(ODM)の成長が勢いに乗っており、生産拠点を海外に建設する企業も増えてきている。

#### <成長続ける電子機器受注製造市場>

2007 年、世界の EMS 市場は、前年比 17%増の 2,681 億ドルの売上高を記録したと、調査会社 IDC が 5 月 12 日付で発表。EMS は、セットメーカー(OEM)がデザインした電子機器を OEM の枠を超えて取りまとめる製造ビジネスモデルで、Dell など外部の製造協力企業に頼るメーカーからの受注により市場を拡大した。受注製品の設計から製造まで請け負う ODM 業者の市場規模は前年比 23%増の高成長となったものの、EMS は依然として受託製造市場の 60%以上を占めている(ODM のシェアは不明)。

#### <世界ブランドを支える台湾企業>

電子機器の受託製造業者を見てみると、調査会社 iSuppli の調査結果を掲載した業界専門誌 EMSNow によれば、2007 年の EMS 業者の売上高トップ 3 は①Foxconn(台湾 Hon Hai の商標)、②Flextronics(シンガポール)、③Jabil(米)。また、ODM 業者の売上高トップ 3 は、①Quanta、②Asustek、③Compal(全て台湾)。こうした企業は、TV、カメラ、ポータブル・ナビゲーション機器などさまざまな電子機器を製造している。中でも台湾の EMS・ODM 業者の売上げ成長に大きく貢献した製品を見てみると、Foxconn は、Nokia などからの携帯電話受託製造を行い、2007 年売上高成長は前年比 46%増で、同年 EMS 市場売上高の 16%を占め市場リーダーとなっている。Quanta Computer は、Dell、Apple、HP、Acer といった世界の大手 PC メーカーからのノートブック PC の受注により、57%増の成長率を見せた。さらに、5 月 6 日付 EMSNow は、同社が 2008 年の出荷台数を 40%以上アップさせ、4,500 万~5,000 万台を達成する計画と報じている。調査会社 In-Stat は、こうした台湾の受託製造業者からのデスクトップ PC 用マザーボードの出荷数は、2007-2012 年の間に年成長率 3.6%増で成長としており、ノートブック PC の出荷数は 18.7%増、デスクトップ PC の出荷数は 5.8%増になると予測している(5 月 15 日付)。

#### <海外に拠点広げる台湾メーカー>

人気電子機器の生産対応のため、人件費、課税率などを低く抑えられる国々に拠点を求め、台湾の受託業者が拠点を移し始める傾向も見られている。例えば、HP、Dell、Acer の PC 製造を受注している Compal は、2008 年に中国本土、ベトナムに生産工場を建設することを発表し、世界的に人気上昇中のノートブック PC の生産が滞ることのないよう備えている(4 月 11 日付 EMSNow)。また、Apple の iPhone、iPod、PC 製造などを請け負う Foxconn も、中国の生産工場に続き、ロシアに PC 組立工場を建設することを表明している(4 月 30 日付 EMSNow)。Quanta も、中国、ベトナム、インドネシア、フィリピンにおける新工場建設を検討中。まだまだ成長が見込まれる EMS・ODM 市場であるが、IDC は、人気電子機器への対応だけでなく、米国経済の行方など発注企業が属する国の状況も見据え、影響を受けないよう対応すべきとしている。